

令和6年度 赤磐市ホストタウン交流事業
ホッケー女子ニュージーランドU21&カナダU23チームとの交流 2024年10月16日－22日

Welcome U21Black Sticks & U23Canada Women's Team!

Akaiwa City Olympic Legacy series Hockey Teams Invite 16-22 Oct. 2024



スポーツ振興くじ助成事業



この事業は、企業版ふるさと納税制度により、
企業からの寄附を運営の一部に活用しています。

ホストタウン交流を続けてきたニュージーランドとカナダ両国の育成チームが同時期に来市。来年2025年開催予定のジュニアワールドカップ、4年後のロサンゼルスオリンピックを目指す世代で構成されたチームが強化キャンプを実施。期間中、親善試合を3試合し、市内さまざまな場所で市民交流を行いました。国の代表として活動する選手はほとんどが大学生。キャンプ期間中も早起きし、母国の時間に合わせてオンラインで授業や試験を受けてから試合や練習に臨んでいる選手もいました。中学生とは、英語や画像を用いて自分たちの住むまちについて紹介し合い、学業と両立をしながら選手活動続ける苦労や、志について話をする時間をもちました。今回のホストタウン交流では、のべ650人の市民と交流し、より多くの市民にホッケー競技の魅力と、ホッケーを通じてつながる世界を楽しんでもらえたことを願います。両国の選手、スタッフからは、練習環境と市からのサポートに感謝され、市民との

交流が何よりも心に残る素晴らしい体験だったというメッセージをもらいました。
Young Development teams from both of our “Host-Town” Nations, New Zealand and Canada, came together in Akaiwa City. During their time here, they had 3 games against each other, trained at our hockey pitch and ran several community workshops with us. The players shared with Akaiwa students, their challenges of balancing between training in a high performance program and their studies at college. We had a total of 650 people from Akaiwa that interacted with the teams. This Olympic Legacy event with the teams shows the example of No boundaries but Joy and Bonding through sport. We are hopeful that all the smiles proves how fantastic and successful it was for all of us. We look forward to the next time.





歓迎式 The Welcome

赤磐市本庁の多目的スペースでの歓迎式。山陽幼稚園年長児のかわいなお迎えに思わず笑みがこぼれる両チームの皆さん。園児から「がんばってね」の気持ちを込めて、選手とスタッフに手作りのメダルが贈られました。カナダチームマネージャのシャンさんは、このメダルを一日中身に付けて歩いていました。NZチームは歓迎のお返しに Tutira Mai Nga Iwi (トゥティラマイナイウィ) の歌を披露してくれました。

A surprise welcome and medals given by children at Sanyo kindergarten. Chan, the team manager of Canada team had the medal on her all day! In return, NZ team sang their Folk song "Tutira Mai Nga Iwi"



10月16日 Community workshops



ひとあし早く岡山入りをしていたNZチームは中学生と交流。身体を動かしながらの交流でお互い少しリラックスしたところで、中学生から赤磐市の魅力について紹介しました。予想外の質問にもジェスチャーや翻訳アプリを使いなんとか通じ合えた様子。英語が好きな人も苦手な人も、「通じ合いたい」葛藤と「通じ合えた」喜びの感情があふれる時間となりました。(中学生の感想は6ページに掲載)

NZ team arrived to Akaiwa City a day early. They shared their time with Junior High School students. Exciting and genuine feedbacks from students on page6.



トレーニング後は、市内の園児や小学生との交流を実施。ホッケー教室やあそびを通して交流しました。選手たちの足の速さを感じたり、ホッケーのスティックさばきを見せてもらったりと、選手たちのすごさを肌で感じる事ができました。選手たちにとっても教えることや、子どもたちがホッケーの技に驚いている様子を感じることでホッケーに向き合うモチベーションを上げるにつなげた様子。

Community workshops at schools and kindergarten in between trainings. Students could see and feel the speed and technique from hockey players. We hope both teams enjoyed the opportunity to meet the locals.





「市民交流があると、試合や練習の疲れを忘れるみたい！」とチームスタッフから。お互いにプラスのエネルギーを交換できたのであれば幸い！"Girls get pumped up energy back when they interact with locals!" says team staff. Happy to exchange the positive & joyful energy!!!!

10月19日、20日、22日 Game Day & Community Workshops



19日の親善試合&市民交流はあいにくの雨。しかし、人工芝は雨天でも大丈夫！試合はもちろん、市民交流も実施！小雨の中選手たちとふれあいました。Raining on Saturday. It didn't matter! We had fun running and stretching together. The turf is for any weather.



翌日20日は晴天の中、予定通りゆっくりと選手たちと交流しました。親善試合はスピード感、迫力満載でした。前週に交流していた小学生が観戦にきてくれたり、県内ホッケー競技者の中高生が競技運営に協力したり、その他たくさんの市民が試合観戦したり、その後の交流に参加しました。



エスコートキッズに積極的に話しかけてくれた選手たち。
Players were very friendly with kids and trying their Japanese. "Konnnich iwa" "Arigato".



22日の平日の親善試合＆交流では、マスターズチームの選手のみなさん（80歳+）がボールサーバーとして協力。N Zやカナダから試合観戦に来ていた選手の家族から、試合後に温かい拍手が贈られました。また平日開催にも関わらず、応援や交流にかけつけた観客とのんびりと交流をしました。娘たちの活躍を見に来日、来市くれた家族からは、日本の美しい自然とやさしい人たちに会えてよかったと言っていたいただきました。私たちからも、娘さんたちが市民と温かいふれあいの時間を持ってくれたことに感謝し、チームの今後の活躍をお祈りしました。Akaiwa staff received many thanks from parents and families from NZ and Canada. They came over to Japan to watch their daughters' international matches. They gave warm hands after the match on the 22nd to the ball patrol Masters players who are all 80+ in age! We are grateful for what the teams have contributed to our community. The girls and their staff have done an amazing job! Thank you and we wish both teams the best of luck in their future!



市民交流の際に渡そうと母国からプレゼントの袋を作ってきた選手も。メッセージ入りで受け取った市民は大喜びでした。カナダ連盟からはピンバッヂのプレゼントも。Thank you FHC for the pins and stickers. Some NZ players brought goodie bags to give away at community workshops. ARIGATO everyone!

さいごに Thank you for an amazing time!



歓迎式からオープンスペースで実施し、より多くの人にオリンピックレガシーとして継続するホストタウン交流に参加いただけるよう啓発しました。赤磐市はニュージーランドおよびカナダホッケー連盟と今後も関係を継続し、この交流がさらに多くの市民に認知され、スポーツを通して国際理解が進み、スポーツを「する・みる・ささえる」人が増えていくよう今後も努めていきます。

Bonding through sport

Akaiwa city will continue working with Hockey NZ and Field Hockey Canada to enhance the good influence on international understanding and community engagement through hockey and sports.



交流後の学生・市民の感想 Feedback from students and citizens

- ・ニュージーランド、カナダに行ってみたい！ I want to go to NZ/Canada!
- ・赤磐市がこんなコラボをしているのは意外だった。
I didn't know Akaiwa City have such a collaboration project.
- ・すごく楽しくてまたしゃべりたいと思った。 It was so much fun. I didn't want it to end.
- ・話してみて少し自信がついた。 I gained a little bit of confident speaking English.
- ・こんな体験ができるんだと思ううれしい。 So happy to have had this opportunity.
- ・温かい笑顔で話すのを聞いてくれて安心した。 They were so kind and patient.
- ・選手たちが僕の英語を理解しようとしてくれてうれしかった。 I was so grateful that they tried to understand me even though my English wasn't perfect.
- ・みんな優しくてかわいかった♡ They were so kind and cute♡



番外編 トレーニング&交流 in 岡山市

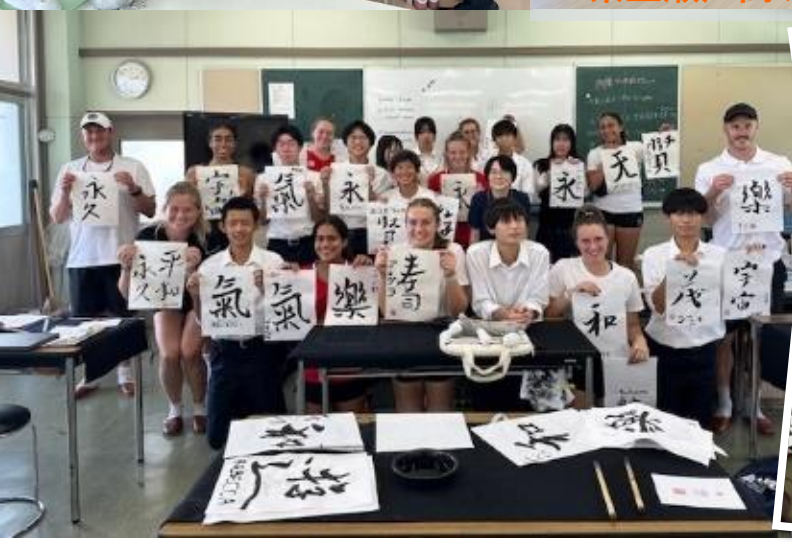
トレーニング @江尻レストパーク



赤磐市と岡山市をベースにした今回の強化キャンプ。
岡山市では江尻レストパーク、I P U環太平洋大学、県立
瀬戸高等学校でトレーニングと交流を行いました。



トレーニング&交流 @県立瀬戸高等学校





トレーニング & 交流 @ IPU環太平洋大学

IPU環太平洋大学では最新鋭のスポーツ科学機器、設備を使わせてもらいトレーニングしました。また、体育学科一年生100人へホッケー教室を開催しました。🇬🇧🇯🇵🇨🇦

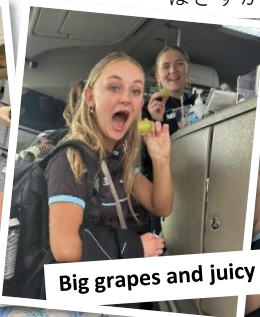
Special thanks to IPU. The teams used the Sport Science Lab with state of the art equipment. They helped introducing hockey and trained with the students on another sunny day.



番外もぐもぐ編 Enjoy Japan's Miracle Food

熊山に工房を構えるパン屋さん
にアレルギー対応のパンを作
ってもらい、選手の食事にサポ
ートいただきました！

Bread from a local bakery



Big grapes and juicy fruit



驚きの新事実?! wow
Japanese sandwiches have No Crust!?



Japanese soul food
Udon and ONIGIRI!



NZチームは、日本人のソール
フードとも言える「うどん」を
食べに。お肉たっぷりのトッピ
ングが気に入った様子。

赤磐市の農家からチームに贈呈したぶどうの甘さと大きさに
選手たちはびっくり！岡山市からもらった大きな梨は「これ
はさすがにかじれない！」とホテルに持ち帰り食べたそう。

おにぎりがお気に入りの選手たち。やはり日本のお
米はおいしかったのでしょう。そして「日本のサン
ドイッチにはなんでも耳がないの?! 画期的!」と驚
く両国の選手とスタッフ。日本の食文化は驚きが